

普及活動情勢報告（令和7年3月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

管理しやすい樹を目指して ～ユズ剪定講習会を開催～



作業性の改善について
説明する普及指導員
(J A馬路村の講習にて)

2月中下旬、J A高知県安芸地区柚子部及びJ A馬路村ゆず部会が剪定講習会を開催し、部会員のべ275名が参加しました。

農業改良普及課は、剪定作業のポイントや果樹試験場が開発した簡易L A I (葉面積指数)測定アプリの使用方法を説明した後、J A営農指導員とともに実演指導を行いました。

参加者からは、「いざ切ろうとすると判断に迷う」、「ユズの性質や作業手順について説明しながら剪定してくれたので理解しやすかった」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も新規就農者等担い手の早期技術習得や高齢であっても管理しやすい樹づくりなど、生産者のニーズに応じた栽培管理指導を実施していきます。

来年度の普及活動の推進にむけて ～令和6年度農業改良普及推進協議会～



会議の様子

2月27日、田野町ふれあいセンターで、農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表者や関係機関等の協議会構成員18名が出席しました。

会では、農業改良普及課から令和6年度の活動概要や令和7年度の活動計画等について説明後、意見交換を行いました。

構成員からは「5年ほど10月の高温が続いているが、どのような対応策が考えられているのか?」「S A W A C H I ニュースで植物生理等についての記事が掲載されるようになり、関心も高まった。植物生理を理解して環境制御に生かす技術を勉強会等で情報提供してほしい。」等の意見が出されました。

農業改良普及課は、構成員から出された意見を今後の普及活動の実践に活かしていきます。

環境モニタリングしてみましよう ～羽根青壮年部勉強会～



環境データについて説明
する普及指導員

3月12日、J A高知県羽根青壮年部はナスの勉強会を開催し、部会員8名が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、環境モニタリングの有用性を説明し、安価で手軽に導入できる環境測定装置を紹介しました。その結果、部会員のうち興味を示した2名が新たにモニタリングを開始することとなりました。

農業改良普及課室戸支所は、今後もモニタリングからハウス内環境を適正化して、収量向上に取り組む生産者を支援します。

草勢と温度管理の確認 ～中芸地区ナス現地検討会～



色味表の活用について
説明する普及指導員

3月21日、中芸地区ナス現地検討会が開催され、18名の生産者が参加し、厳寒期の温度管理とナスの草勢について確認しました。

農業改良普及課からは、ナスの草勢診断ツールとして葉色・花色の色見表の紹介と、温度管理の改善で草勢をコントロールし収穫量を維持した事例を紹介しました。

参加者は、実物と色味表を見比べたり、温度管理を確認していました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会等でハウス内環境管理について紹介し、収量・品質の向上を支援します。

今月の達成状況は？ ～S A W A C H I 目標管理機能の活用～



作始めに目標収量を設定

令和7園芸年度のJA高知県芸西支部ピーマン部会では、個人の目標収量を設定し、達成状況を確認しながら栽培に取り組んでいます。

農業改良普及課は、部会の出荷実績から収量モデルを作成し、S A W A C H I を活用した月毎の目標収量設定の提案と目標達成に向けた個別巡回指導を行いました。

この結果、新規就農者は、9～1月の収量が部会平均を上回る実績となりました。

農業改良普及課は、今後も生産者の目標達成や増収に向けて支援します。